

## 4つの薬用成分\*1の働きで、口臭・ムシ歯も予防する歯周病予防ハミガキ 『デンターシステムEXライオン』に「新香味」を追加して改良新発売

ライオン株式会社（社長・藤重 貞慶）は、4つの薬用成分「IPMP」・「ε-アミノカプロン酸」・「LSS」・「フッ素」の働きにより、口臭・ムシ歯も予防する歯周病予防ハミガキ『デンターシステムEXライオン』に、薬効感の高い個性的なハーブ系の香味『エクストラハーブ』を追加して、2008年3月12日（水）より全国にて改良新発売いたします。

※歯周病は、歯肉炎・歯周炎の総称です。

\*1：「IPMP（イソプロピルメチルフェノール）」、「ε（イプシロン）-アミノカプロン酸」、  
「LSS（ラウロイルサルコシナトリウム）」、「フッ素（フッ化ナトリウム）」

### 1. 発売の狙い

歯周病にかかっている人は20代で約75%、30～60代では80%以上にのぼっています（厚生労働省・平成17年歯科疾患実態調査）。当社調査によると、ハミガキに対して歯周病予防効果を期待する割合は拡大しており、特に40代での伸びが大きく、歯周病予防への関心は益々高まっています。また、ハミガキに歯周病予防を期待している人では、「口臭やムシ歯」も気にする割合が多くなっています。

当社は、4つの薬用成分の働きにより、口臭・ムシ歯までトータルにケアする歯周病予防ハミガキ『デンターシステムEXライオン』を2006年9月に発売しました。殺菌成分「IPMP」と「LSS」が、“歯周ポケット”の奥にひそむ「歯周病菌や口臭原因菌の巣（バイオフィルム）」の内部まで浸透して徹底殺菌します。

この度、薬効感の高い個性的なハーブ系の香味『エクストラハーブ』を追加して改良新発売いたします。

### 2. 発売日・地域

『デンターシステムEXライオン エクストラハーブ』130g：2008年3月12日（水）全国

『デンターシステムEXライオン メディカルクール』130g：2008年3月 全国

『デンターシステムEXライオン メディカルクール』 30g：2008年3月26日（水）全国

### 3. 改良のポイント

#### ①新香味を追加

薬効感の高い個性的なハーブ系の香味『エクストラハーブ』を追加新発売します。

※従来の『デンターシステムEXライオン』は、『メディカルクール』として改良新発売いたします。

#### ②パッケージをリフレッシュ

歯と歯ぐきの狭いスキ間“歯周ポケット”の奥まで浸透殺菌するイメージを、黒とエメラルドグリーンのグラデーションにより表現したパッケージデザインにしました。

#### ③小サイズを追加

『メディカルクール』30gを追加新発売いたします。

#### 4. 商品特長

① 4つの薬用成分「IPMP」・「ε-アミノカプロン酸」・「LSS」・「フッ素」配合で、  
歯周病・口臭・ムシ歯を効果的に予防する

〈1〉殺菌成分「IPMP（イソプロピルメチルフェノール）」が、“歯周ポケット”の奥  
にひそむ「歯周病菌の巣（バイオフィルム）」の内部にまで浸透して徹底殺菌

「歯周病菌の巣」は、薬剤などが非常に浸透しにくいという性質をもっています。この強固な「歯周病菌の巣」の内部まで浸透して殺菌することができる成分「IPMP」を配合。“歯周ポケット”の奥にひそむ「歯周病菌の巣」の内部までしっかり殺菌します。〈参考資料参照〉

**【歯周病菌の巣（バイオフィルム）】**  
歯周病の原因で、歯と歯ぐきの狭いスキ間“歯周ポケット”で増殖する細菌のかたまり（集合体）。強固な表面で覆われており、通常殺菌成分は中まで届きにくい。細菌が増殖しながら毒素を放出し、歯ぐきの炎症を引き起こす。

〈2〉抗炎症成分「ε（イプシロン）-アミノカプロン酸」が歯ぐきの炎症を抑えて歯周病を予防

〈3〉殺菌成分「IPMP」と「LSS（ラウロイルサルコシナトリウム）」の働きで、「バイオフィルム」中の口臭原因菌を強力に殺菌。さらに「LSS」がムシ歯原因菌も殺菌

〈4〉「フッ素（フッ化ナトリウム）」が歯質を強化してムシ歯を予防する

② 殺菌成分「IPMP」の浸透を高める浸透剤「PEG（ポリエチレングリコール4000）」を配合

③ 「メディカルクール」と「エクストラハーブ」の2香味を品揃え

清涼感があり使いやすいメディカルクールミントの香味と薬効感の高い個性的なエクストラハーブミントの香味です。

#### 5. 容量・価格

商品名	容量	小売価格
デンターシステムEXライオン エクストラハーブ タテ型（医薬部外品）	130g	オープン価格
デンターシステムEXライオン メディカルクール タテ型 （医薬部外品）	130g	
	30g	

以上

〈参考資料〉

##### ■ 歯周病の原因は、「歯周病菌の巣（バイオフィルム）」

これまで一般的に歯周病の研究は、主に「単体の病原性細菌」に対してなされてきました。しかし歯周病菌は、歯と歯ぐきのスキ間“歯周ポケット”に細菌の塊（集合体）を形成して「歯周病菌の巣」として存在しており、この「歯周病菌の巣」は殺菌剤など薬剤の内部への浸透が非常に難しい性質を持っていることから、歯周病の主原因は単独で存在する病原性細菌ととらえるのではなく、「歯周病菌の巣」としてとらえる必要があります。

##### ■ 殺菌成分「IPMP」は、通常の殺菌剤など薬剤が浸透しにくい「歯周病菌の巣（バイオフィルム）」の内部まで浸透して殺菌する

当社は、通常の殺菌剤など薬剤が浸透しにくい「歯周病菌の巣」に、殺菌成分「IPMP」が浸透して内部の菌を殺菌する効果があることを確認しました（2004年秋「日本歯周病学会」などで報告）。

お問い合わせ窓口

〈報道関係の方〉 広報部 03-3621-6661  
〈消費者の方〉 お客様相談室 03-3621-6611